

・上記は、踊りの神／ナタラージャ神のステップの振動で、目的を見失い苦しんでいた人々の基底に眠る蛇（エネルギー）は頭をもたげ、気道のエネルギーも活性しそれらは頭頂に向うことを知る。それにより意識を上げることが出来た、と解釈する。

「光を失った神々はブラフマー神に相談し一緒にヴィシュヌ神に助けを求めに行った。そして、「アスラと協力しマンガラ山を海に運んで蛇の王バスキを山に巻き一方を神々が引き、もう一方をアスラが引いて海をかき混ぜなさい。すると最後に神の酒アマリタが出てくるのでそれを飲むといいだろう。しかし、それまでにいろいろなモノや宝が出てくるがそれを自分のモノにはいけない。たとえアスラがアマリタを手にしてもそれを奪わないことだ。アマリタは神々に与えることを約束する」言った(図2)。

神々とアスラは海をかき混ぜたがすぐに山が沈んでいった。ヴィシュヌ神は亀の姿になり海の中で山を背中に置いてかき混ぜることも手伝った。かき混ぜ出したら海の底に沈んでいた毒がわき上がり息ができないほどに神々とアスラを苦しめたので、シヴァ神が毒を飲んで助けた。

その後長い間攪拌を続けると最後にダヌヴァンタリ神(アーユルヴェーダの神)がアマリタの壺を持って現れた。アスラは我れ先にとそれを奪い仲間同士で争ったのでヴィシュヌ神は美しい女性(モヒニ)の姿になって現れた。

アスラはその美貌に惑わされアマリタの壺をモヒニに渡し分配を委ねた。モヒニは神々にアマリタを配り終えアスラには与えることはなかった。こうして神々は、ラクシュミー女神の祝福と永遠の光を持つことができアスラの怒りの攻撃を抑える力をもった。」

(図2)

